

# 歴史的建造物を守り、開く未来

ご挨拶を申し上げます前にこのたびの東日本大震災により、不幸にしてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。また、現在も被災地の復旧・復興に奮闘されている皆様に敬意を表する次第でございます。

長崎県は幾度も災害からの復興を、全国の皆様からの暖かいご支援によって成し遂げてきました。今、このご恩返しのお気持ちも込めて本県が持つ水産・港湾土木などの技術を携えて、被災地の復旧・復興に向けて県民とともに支援してまいります。

## 1. はじめに

長崎県は九州の西端に位置し、壱岐、対馬、五島列島などの離島が県面積の約40%を占め、国内第2位の海岸線延長を有しているなど海との関わりがとても深い県です。さらに、自然豊かで、農林業、水産業が盛んであり、造船業にも力を入れています。近代日本の発展を支える炭坑産業が盛んな時期もありました。そして、古くより朝鮮半島、中国や東南アジア、そしてヨーロッパと交流しています。

長崎県は、この豊かな自然と歴史的背景から独自の文化を創造し、建造物を建設してきました。現在まで守り抜かれた建造物は、長崎県にとって大切な財産となっています。

## 2. 長崎の歴史的建造物

長崎県庁舎は長崎奉行所跡地で、長崎市中心部

の長崎港を見渡せる丘の上に位置し、眼下には鎖国時代に日本で唯一海外に開かれた出島(1636年)が見えます。出島は人工島であり、近年の遺構調査により明らかとなった当時の建築物や護岸石垣が公開されています。

出島と長崎県庁の間を流れる中島川には、日本最古の鉄製道路橋の出島橋(1910年)がかかっており、現在も市民生活の大切な橋として利用されています。移設前の新川口橋(1890年)のときを含めると121歳となります。海に近い鉄橋であるにもかかわらず塩害などの損傷が少なく、適切な維持管理により長寿命化を成功させています。

中島川は、緩やかな曲線を描く美しい石積護岸(1889年)を持ちます。護岸をたどって、新地中華街を横に眺めながら、さらに上流へ向かうと、眼鏡橋(1634年)を代表とする中島川石橋群にたどり着きます。石橋群や護岸は長崎大水害(1982年)の際に被災しましたが、現在は被災前以上に長崎を代表する建造物として復興しています。護岸に設けた階段により親水を可能とし、華僑の春節祭からはじまったランタンフェスティバル(2月)では、ランタンの暖かい灯りが水面に写り、夜を彩ります。

中島川石橋群からさらに上流へ向かうと、本河内高部ダム(1891年)、本河内低部ダム(1903年)、西山ダム(1904年)に着きます。これらは、国内で3番目に整備された長崎市の水道施設を支える水道専用ダムとして建設されましたが、長崎大水害において、激甚な氾濫被害を起こした中島川の抜本的な治水機能を有するダムに改築しています。

長崎県知事 なか むら 中村 ほう どう 法道



この際、長崎県ではその歴史的価値を守ることを重んじ、出来る限り当時の状態を保存して改築しています。

そして、中島川の河口である長崎港からは、「九州・山口の近代化産業遺産群」として世界遺産暫定リストに記載されている軍艦島へ向かうことができます。日本近代化を担う端島炭坑（1890～1974年）を擁し、1916年に日本最初の鉄筋コンクリート造りのアパートが建設されましたが、閉山（1974年）に伴い現在は無人島となっています。現在、保存のための補修工事を行っており、2009年4月より一部観光客が上陸・見学出来るようになっていきます。

これらの他にも、長崎県下には、先人たちの力により守り抜かれたさまざまな歴史的建造物があります。

### 3. 長崎における歴史的建造物の効果

歴史的建造物には供用中のもの、歴史モニュメントとして保存されているもの、祭事などの場となっているものがあります。それらには、生活を支え、文化を継承し、地域活力を与える効果があります。さらに、歴史的背景を持つことは、建設当時にほとんどの建造物で想定していなかった、魅力ある観光資源としての効果を与えています。そして、観光地として注目されることは、住民の誇りとなり、さらに地域を輝かせることにつながっています。

長崎には、歴史的背景をもつ港、石畳、石垣、路面電車、中華街、寺町、外人墓地や教会があり

ます。それらが美しい海岸線や豊かな緑と重なってつくり出される景観は、長崎の観光地としての魅力を高めています。この景観は異国情緒にあふれており、この地がかつて国内外を結ぶ要衝であったことを思い起こさせます。

そして現在、1997年以降途絶えていた長崎上海航路を復活させる取り組みが始まっています。ハウステンボスの尽力はもとより、本県と中国との深い繋がりが復活を近づけたのだと考えます。さらに、県では新幹線計画の実現に力を入れており、新しい駅は歴史的背景を持つ国内外を結ぶ要衝として魅力を高めることになるでしょう。また、このことにより、長崎上海航路は、国内新幹線ネットワークと中国の高速鉄道ネットワークを結ぶ今までにない全く新しい航路となり、さらなる発展が期待されます。

### 4. おわりに

先人たちにより守り続けられてきた歴史的建造物は、現在、私たちへ文化的、経済的な恩恵を与えてくれています。この恩恵は、子供たちに郷愁を与え、子供たちが将来ここに生まれ育って良かったと思える、活力に溢れ生きがいをもって暮らせる長崎県づくりに繋がります。長崎県は、今後も歴史的建造物を守ることによって地域の魅力を高め、「人が輝く、産業が輝く、地域が輝く長崎県づくり」に取り組みます。